

オンリーワン

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障害当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

バリアフリー
ペーパー

8月号

平成27年8月18日発行

偶数月発行

早いもので、休暇中の相談員の代理として私が支援センターに配属されてから一年がたちました。初めは何をしてよいかわからず緊張の毎日でしたが、オンリーワンのメンバーをはじめ、行政、事業所、利用者の皆様のあたたかさに支えられ、無事任期を終える事になりそうです。

この場をかりまして、関わることでできた全ての方にお礼を申し上げますと共に、今後とも当支援センターを宜しくお願い申し上げます。（支援センター 長野）

交流サマーキャンプ開催！！ in 石鎚ふれあいの里



当日は、悪天候にも関わらず多くの団体でにぎわっていました。



8月1日（土）、石鎚ふれあいの里で、西条市障害者団体連合会主催の「第2回交流サマーキャンプ」が開催されました。

前日、梅雨明けしたにも関わらず、当日は朝から、どしゃぶりの大雨と雷！！みんなの「天気になって欲しい・・・」との思いが届き、途中から奇跡的に雨があがりました(^_^)。様々な障害をお持ちの方、ご家族、市役所や福祉施設のスタッフの方々など、41名が参加してくれました。

交流キャンプのメインイベントは、なんといっても、バーベキューです。ここは屋根付きなので、雨が降っても、日差しが強くても、気兼ねなくバーベキューを楽しめます。「普段は1人なので、今日は、みんなで一緒にお肉が食べれて、すごくおいしかったなあ〜。」と西条市在住のKさん。今年は、フォークダンスも楽しみました。時折、森の中から、気持ちのいい風が吹いてきました……。夏のキャンプには最高の場所ですね。

私達、障害者相談支援センターは、実行委員として、みなさんが交流を持ち、人の輪が広がり、地域で元気に暮らしていけるように、キャンプの企画や運営、チラシ配りなど、楽しみながら準備を進めてきました。多くの皆様のご協力のおかげで、ケガもなく無事終了することができてよかったです。（支援センター 青野）



（イラスト しんすけ）



当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)

編集委員の梅野です。私は10年前に脳内出血の後遺症で左半身麻痺を伴う体になりました。その時、友人より壬生川にリハビリ環境抜群の病院があるから通院してみたらと紹介されたのが共立病院でした。

当初共立病院のリハビリのスタッフの多さと若さにびっくりしました。自分の息子の様な若い先生に運動を施して貰う事が少し恥ずかしかった記憶が残っています。それでも、若くハツラツとした先生方の患者に対する対応はとても素晴らしいものでした。心も体も病んだ人への対応は、本当に難しいと思うのですが、さりげなく掛ける言葉には温かさが有り明日への希望さえも感じさせます。

そんなリハビリの先生の中で、視覚障害6級(弱視)の手帳を持つ理学療法士の佐々木健一さんを今回取材させていただきました。(以後佐々木先生)

★佐々木先生★



★リハビリ室風景★



佐々木先生は、鍼灸師の免許を取得し今治の病院にて4年間の勤務後、徳島県立盲学校の理学療法科で3年間学びました。その後国家試験に見事合格し共立病院でこれまで6年間勤務しています。仕事のやりがいを知ると、「自分が施したりハビリで患者さんが少しでも回復する兆を感じたり、心が通じ合い患者さん自身がやる気を持ってくれる事が、今の僕の一番の喜びです！だから頑張れるんです。」と胸を張って言うておられました。半日で約10名、1週間で108名の施術という規定の中で同じ患者さんの運動が集中しない様割り振りに心掛けているそうです。

日常生活の不便さは特には感じてないけれど、しいて言えば本屋で読みたい本を探すのが大変な事と車の免許が取得出来ない事だそうです。それでも職場と自宅が近いこともあって、通勤は自転車を使っているそうです。又先生は友人と東北や九州方面にまで写真を撮りに行く事もあるほどの鉄道マニアだそうです。最近、鉄道以外の風景写真も撮って友人のブログに掲載したりと趣味も楽しんでいるようです。

☆佐々木先生が今、患者さんにリハビリの一環として一番お伝えしたい事、気をつけておられる事をお聞きしました。(佐々木先生の言葉)☆

「まず私の思う心のリハビリは生き甲斐を持って頂く事です。病院では中途障害の方と接する事が多い仕事です。だからこそ言える事は、現在の自分を受け入れ開き直すことも必要なのではないかと思います。」

私は本人の意欲をどう引き出せるかといつも考えています。依頼心や甘えを押しさえ、気力とやる気を家に帰ってからも持続し頑張るって自宅でのリハビリを習慣づけて欲しいと願っています。私だけでなくスタッフ一同は患者さんに一歩踏み出す勇氣を持って欲しいと強く思っています。」

☆仕事以外での目標は？☆

「早く理想の女性(料理の上手な優しい人)に出会い両親を安心させてあげたいですね。」



～誠実でまっすぐな人柄の先生に、1日も早く運命の人が現れることを心から願っています♪～

最後になりましたが、多分私も先生方に支えられたからこそ10年通院を続けられたのだと思います。佐々木先生もどの先生も本当に患者さんに優しく一生懸命接しています。体を思い、掛ける言葉に先生方の思いが一杯詰まっています。壬生川で、この様な病院とリハビリの先生方を知って良かったとつくづく思います。この10年間で私の体も心も本当に回復しました。そしてこの病院で生きる希望を学んだと思います。

この取材で写真の提供などにご協力願った外科部長の得居先生やリハビリの先生方、本当に有り難うございました。今後も又素晴らしいチームワークで頑張ってください。佐々木先生の活躍が同じ当事者の希望にきっと繋がると信じています。(梅野)

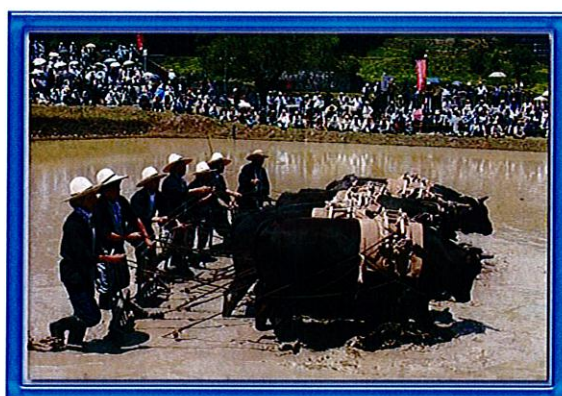


のぶちゃん・おーちゃんのべすとしょと



「県境(*^_^*)」

6月28日の日曜日に、四国カルストへ行って来ました。姫鶴荘(めづるそう)の敷地内に、この看板が立っていました。愛媛県側は旧柳谷村(現久万高原町)、高知県側は梶原(ゆすはら)町です。地面に境界線を引くのは、ナイスアイデアですね。(^^)v 蒸し暑い日でしたが、標高約1500メートルのこの場所は、天然のクーラーが効いていて気持ちよかったです。(^^)v 撮影:おーちゃん



「どろんこ祭り」

「どろんこ祭り」は、西予市城川地区の五穀豊じょう、無病息災を祈るお祭りです。毎年7月の第1日曜日に開催されています。最近では、牛を見る機会はほとんどなくなりました。写真は、牛を使った「しろかき」の様子です。人と牛が一体となり、束の間のタイムトリップ。この牛の仕事は、今ではトラクターが担当しています。古き良き時代の様子を生で見れるのは、このお祭りの醍醐味ですね。 撮影:のぶちゃん

新しい図書館に行ってみました

6月1日に、西条図書館と丹原図書館がオープンしました。今回の取材では、障害者が利用しやすいよう配慮されている点を掘り下げます。

取材：1 ★ まず、西条図書館には、視覚障害者を対象とした「対面朗読室」が設けられています。ここでは、目の不自由な人が、朗読ボランティアサービスを利用して、図書や新聞などを読む事ができます。このことは、普通に紹介されているのですが、実際に取材してわかったことは、「予約」が必要だということです。対面朗読のスタッフが常駐していて、いつでも大丈夫という意味ではないようですから、利用したいと思っている方は、予約をお願いしますね。

取材日は7月でしたが、オープン以来、まだ実際に「対面朗読室」を利用した人は、いないとのことでした。現実には、目の不自由な人が図書館に行くことそのものが、大変だったりするのも知れません。最近では、パソコンに「読み上げソフト」をインストールすることで、画面に表示されている文字が声になったりする時代です。それでも、機械の声と人間の声では、抑揚などまったく違うのも本当です。移動手段の確保出来る方は、「対面朗読室」をぜひ利用してみてください。(^^)

取材：2 ★ もう一つの特徴として、エレベーターを取り上げてみました。西条図書館では、エレベーター内が広く、車椅子を利用した方にも十分なスペースがあります。そして、ドアには挟み込み防止のセンサーもあり安心です。一方、丹原図書館は、丹原総合支所の3階にあり、こちらは既存の建物のエレベーターを利用しますので、残念ながら、障害者向けの便利なものにはなっていません。ただ、3階から見渡せる景色は抜群で、西日本最高峰の石鎚山や道前平野を見ながら読書が楽しめる最高の環境といえます。

取材：3 ★ 最後に車いすでの利用も考慮されていて、テーブルに対する椅子の数が少なめであったり、サービスカウンターの高さが低めに作られていました。障害者用トイレも設置されています。西条・丹原図書館の取材から、西条図書館では「水」や「食」など西条の特色を生かした専門図書や郷土資料等が充実しており、さらに丹原図書館では「食」と「農」に関する図書資料等が充実していました。そしてこれに加え、東予図書館や小松温芳図書館も新しい図書館サービスがスタートしています。この暑い夏に一度クーラーの効いた図書館で読書に励むのはいかがでしょうか。(ひろりん)



編集後記 7月22日の「日食」、皆さんは見ましたか？西条市も曇ってはいたものの、雲の切れ目から確認出来たようですね。皆既日食となった映像をテレビで見ましたが、ちょっと冷静に考えると、偶然とは思えないなと思ったりしました。遠い太陽にぴたりとおさまった月。誰かの意思が働いてるように感じたのは、僕だけではないかも知れませんね。(*^_^*)水不足の梅雨から大雨、雷、地震、どんなに技術が進歩しても自然にはかないません。でも神様、お手柔らかにお願いします。(笑) (おーちゃん)

障害者相談支援センターからのお知らせ！

■ 障害者パソコン入門講座の参加者を募集しています

障害をお持ちの方を対象に、パソコン講座を開催します。全8回で基本的操作をゆっくりと学ぶパソコン初心者のための講座です。興味のある方は参加してみませんか？

実施日時 8月28日、9月4日・11日・18日・25日、10月2日・9日・23日

各回とも金曜日 13時～16時《全8回》

実施場所 西条中央公民館1階 情報通信室

費用 1000円程度

対象者 10名程度 (障害の種別は不問、定員になり次第締め切ります)

詳しい事は、お問合せ下さい。



発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL：0898-64-2600 (代) FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp